

## 逢初川河川計画と市道計画に関する説明会結果

日時：令和4年3月28日（月）19：00～20：15

場所：岸谷会館

熱海市 経営企画部、都市整備課、まちづくり課

静岡県 東部農林事務所、森林保全課、熱海土木事務所

### 1. 開会

### 2. 挨拶

・昨日の説明会で「検討します」と答えたものに対して市としてどのように対応していくか説明をお願いしたい。（県）

→昨日の説明会は、市としての配慮が足りなかった。感染を広げてはいけないということをも第一に対応したが皆様に大変なご不審与えて申し訳ない。4月以降は市の体制も大きく変わるので、市から地域にお伺いさせていただきご意見をうかがう場を設けたい。

（市）

→昨日「検討します」と答えたことについて、いつどのように検討するのかを答えていただきたい。市と県の中で不協和音がある。県は被災者の目線に立っているが、市の目線は全然違うところにあるため話が合わない。（県）

→昨日の内容について詳しく報告を受けていない。結果について市長、副市長と共有した上で検討し回答したい。（市）

→責任を持って市長に話をしに行きたい。結果は逢初川だより等でお知らせしたい。（県）

### 3. 説明

（1）逢初川河川計画について

（2）逢初川沿いの市道計画について

### 4. 質疑応答

・市道を整備したいということは分かるが、まずは既存道路とどのようにつながるか次回くらいには示してほしい。

→既存道路との接続については、4m道路を基本として検討していきたい。（市）

・既存道路との取付部の案はないのか。高低差があるので、ループや接続までの距離が必要になるのではないか。イメージができない。

→現在検討中のため、お示しできる段階になったら説明させていただきたい。（市）

・既設道路の仲道のバス停から下って岸谷倶楽部の脇に繋がっている道路は今後も使えるのか。急カーブになるので移動できるのであれば、もう少し橋を上流側にずらした方が

良いのではないか。

→仲道のバス停からの道は今後も使用できる予定である。橋を上流に持っていっても岸谷2号線との接続で鋭角になる。伊豆山神社線との接続と合わせ、検討が進んだ段階でお示しさせていただきたい。(市)

・岸谷2号線は対面通行になっているが、一方通行に戻るのか。

→現在は対面通行になっているが、将来的には元に戻すことになると思う。(市)

・現状の岸谷本線、支線はそのままにしておくのか変更するのか方向性はあるか。

→基本4m道路での整備を考えているが、土地の問題もあるため、地域との協議を重ねた上で検討を進めていきたい。(市)

・岸谷2号線のところから4tトラックが入れるか調査をしていたが、幅員も狭く、車椅子や杖をついている方もいるので心配している。

→先日、建設業協会に試走してもらった。川の工事を行うのに入る道がない。なるべく入れるところからは車両を入れたい。施工計画これから立てていく。(県)

・基本的に工事用道路を使うのか。それとも岸谷本線を使うのか。

→工事は用地の買収ができたところから進めていきたい。工事用進入路は土砂の搬出で使った丸越さんの横の道路を使ってきたので、工事用の進入路の候補として考えたい。(県)

・今やっているのは土石流が起きたことの收拾について。第二の盛土には産業廃棄物も混じっている。土砂搬入が危険だということを伝えていた。他の造成地は崩れていない。残りの土砂が大量に残っている。住民に知らせてほしい。いつも被災者に寄り添ったような態度ではあるが、出てくるものは全く違う。

→法令上は土木事務所は所管しておらず、熱海市の所管である。2万㎡の盛土がどうなるのかという質問が出た場合には熱海市から答えていただくことになっている。(県)

→検証してほしい。3者で請願を出さしていただいた。百条委員会でどのようなものが出されるか県の土木も注目してほしい。